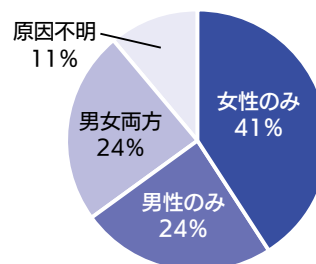


費用や年齢の壁で、治療を諦めかけていませんか？ 不妊治療費助成をご活用ください

「子どもを授かりたい」という切実な願い。しかし、不妊治療には高額な費用がかかることが多く、経済的な負担から治療をためらったり、諦めたりしてしまうご夫婦も少なくありません。常陸大宮市では、赤ちゃんを望む皆さんがお金の心配をすることなく、安心して治療に臨めるよう、全国の市町村でも極めて珍しい「手厚い助成制度」で全力サポートしています。

うまくいかない原因は調べることが近道

不妊の原因は女性だけではなく、約半数は男性側にも要因があると言われています。特に年齢を重ねるにつれ、妊娠する確率はだんだんと下がっていくため、限られた貴重な時間を有効に使うことが何より大切です。まずは夫婦そろって検査を受け、ホルモンの状態などを客観的に知ることがスタートライン。「何が原因なのか」が分かれば、遠回りすることなく、夫婦に最も適した治療へスムーズに進むことができます。



不妊治療の費用は実際どれくらいかかるの？

令和4年度から不妊治療が保険適用となり、原則3割負担になりました。しかし、治療を進めていくと、保険が適用されても1回あたり10万～15万円程度の自己負担が発生することが多く、決して安い金額ではありません。さらに、保険適用には「年齢と回数の制限」があり、これを超えての治療や、より効果を期待して「先進医療」を取り入れた場合は、全額自己負担（10割負担）となり1回の治療で数十万円かかることも。このように、「費用の壁」が立ちちはだかり、治療の継続をためらってしまう夫婦も少なくありません。

常陸大宮市は自己負担分全額を何度でも助成

常陸大宮市では、赤ちゃんを望む夫婦が費用の壁に悩まず治療を続けられるよう、全国でもトップクラスの充実した助成制度で全力サポートしています。「私たちの治療は対象になる？」「申請には何が必要？」など、少しでも気になることがありましたら、ぜひ総合保健福祉センター「かがやき」へお気軽にお問い合わせください。



▲詳細

常陸大宮市の不妊治療費助成の強み

顕微受精・体外受精・ 男性不妊は回数無制限

一般的な自治体では「1回3万円まで」などの制限があることが多い中、本市では保険診療を受けた際の窓口負担（3割部分）を、上限額を設けずに**全額助成**しています。これにより、実質的な自己負担はほぼゼロになります。

保険適用外・先進医療も 回数無制限で全額助成

保険適用では「39歳までは6回まで」「40～42歳は3回まで」といった回数制限があります。常陸大宮市では回数制限を超えて行う「**自費診療**（10割負担）」での不妊治療や、保険外となる「**先進医療**」の費用も全額助成します。

NEW

交通費も助成

不妊治療に市外の専門クリニックに通うことが多いことから、自宅から医療機関までの往復交通費（1日上限1万円）の助成が新たに始まりました。電車やバスはもちろん、自家用車での通院も移動距離に応じて助成します。